

私が支部長を務めさせて頂きました平成9年7月～13年6月の在任中の2件の報告をもって「校友の声」とさせて頂きます。

校友会奈良県支部に入会をさせて頂いた時期は定かでないのですが、当時私が所属していた（社）奈良青年会議所（奈良JC）の広報委員会活動として奈良トヨタ自動車（株）社長の菊池久武様（第3代奈良JC理事長）を昭和51年頃に田原本町の本社にお伺い致しました。座談の中で菊池社長は明治大学出身で、県内に校友会の支部があり社長が支部長をされていることを話されました。私の手持ちの資料に昭和53年の役員名簿や昭和55年度の支部総会の案内状がありますのでその頃に入会をさせて頂いたものと思います。

報告のひとつは支部総会の会場です。

私が入会した頃の支部総会は奈良市内の旅館やホテル、奈良県文化会館などで開催され、平成3年度の支部総会（第3代支部長 板橋知義様）からは第4代支部長の山本将雄様が社長の天理観光ホテルを常設会場として開催し、山本社長には何かと面倒を頂いていました。支部総会に来ていただく近隣各支部の皆様より交通の便について時々耳にすることがありました。校友の中にも…と思うようになりました。山本社長には今までのご協力、ご支援に対して会場の変更はたいへん失礼であり、申し訳のないことだと思ふ反面、決断の時だと思ふに至り、役員の皆さまに会場の変更について諮りました。賛否両論のご意見を頂きましたが、平成12年度の支部総会より奈良公園にある奈良ホテルでの開催となり、現在まで常設会場として皆さまにご案内しています。

次に明治大学マンドリン倶楽部（マンクラ）の奈良演奏会の開催です。支部総会や役員会で度々奈良支部主催の開催が話題に挙がり、歴代支部長は開催について努力をされましたが機が熟さず実現しませんでした。大阪府支部は古くから演奏会を催されており、多くの明大マンドリン倶楽部ファンが演奏会を待ちわびておられます。菊池久武元支部長は在任中に是非との思いが強かったと記憶しています。

平成9年7月の役員会でマンクラの招致について検討をさせて頂きました。検討の結果、招致・公演開催の決議を頂きました。早速に実行委員会の発足をお願いをし、大学校へマンドリン倶楽部の派遣依頼、倶楽部との打ち合わせ、大阪府支部との開催日の調整、等々からのスタートでありました。開催日が平成10年8月5日（水）、会場は奈良県橿原文化会館大ホールと決定しました。それから幾度となく実行委員会や各部会を持って頂き、ポスター、チラシ、入場券などの印刷、学校・倶楽部との打ち合わせ、チケットの販売、プログラム掲載への広告取り等、校友にとっては初めての事ばかりだったと思います。チケットの販売、広告の受注も皆さんの頑張りですべての成果をあげて頂きました。

いよいよ当日が参りました。実行委員会の方々は早くから文化会館に来て頂き、それぞれの部署にて準備をさせて頂きました。開場時間が近づくに連れて入口付近が混み合ってきましたので予定の開場時間を繰り上げて開場したと記憶しています。会場は校友のご家族、友達、県民のファンの皆様で満席の状態となりました。菊池久武元支部長の奥様、ご遺族、当時の安曾田橿原市長にもご来場を頂きました。演奏会は3部構成で第1部 古典音楽、第2部 マンドリンが綴る日本の詩情、第3部 マンドリンファンタジーの構成で、第2部での古賀メロディをはじめ明大マンドリン倶楽部ならではの演奏会でした。友情出演として荒井敦子さんと「まつぽっくりならまち少年少女合唱団」にご協力を頂きました。

来場者の皆様は酷暑を忘れて楽しい夜のひと時を過ごして頂いたと思います。初回の開

催以来、次代の支部長により4回もの奈良演奏会を開催して頂きました。

これからも支部長を中心として支部校友の協力により演奏会を開催していただきます様  
にお願いを申し上げます。報告と致します。

第5代支部長 城田全康